

(第3種郵便物認可)

避難児にウクライナ語教材

学研 無償で「学びをとめないで」



日本に避難後、ウクライナ語版の教材で学ぶ子どもたち(学研提供)



ロシアによる侵略で日本に逃れてきたウクライナの子ども向けに、出版社の学研(品川区)がウクライナ語の教材を作って無償で届けている。同社は「子ども

立ててほしい」としている。教材は、同社が発行する「幼児ワーク」シリーズが基になっている。2〜4歳児向けと3〜5歳児用の2種類があり、塗り絵をしたり、迷路を解いたりしながら手先の器用さや観察力などを養えるという。

1万部印刷。ユニセフなどを通してルーマニアやモルドバなどの避難所に置くことにし、国内の避難民にも無料で配っている。ウクライナの子どもの学ばない民間の教育施設でも、未就学児や小学校低学年にあたる子どもたちが教材を使っているという。



学研の担当者は「日本では英語の教材は手に入っても、ウクライナ語は難しい。子どもたちが学ぶ機会と学ぶ楽しさを届けたい」としている。

バッテリーの有料貸出しスタンドに写真、同社提供を全69駅に設けると発表。震災時には無料で貸し出し、帰宅困難者の支援にも生かすという。来年3月末までに設置を終える。利用には専用アプリで事

品名	高値	安値	平均
【東京・芝浦】(付付き)			
豚	691	541	608
上	694	518	566
中	674	514	548
下	648	461	518
等外	497	219	416
等級			
A	2058	2139	2394
B	2150	1989	2326
C	1793	2107	1989
D	1373	1483	1464
E	1333	1518	1646

品名	高値	安値	平均
豚	546	540	518
上	532	475	518
中	509	400	479
下	488	302	408
等外			
(上場頭数)	101		

前に登録する必要がある。料金は貸出時間に依りて165円から。同様のスタンドは全国のコンビニ店や商業施設など3万5000か所以上にあり、駅で借りたバッテリーをコンビニ店などで返すこともできる。

墨田川高天文部など最優秀



手作りの月面図と模型を前に受賞を喜ぶ都立墨田川高の天文部員

第66回日本学生科学賞(読売新聞社主催、旭化成協賛)の都大会が行われ、都代表として中央審査に進む最優秀賞に「中学の部」から5点、「高校の部」から3点が選ばれた。このほかに優秀賞9点、奨励賞13点、努力賞19点もそれぞれ決まった。高校の部で最優秀賞に選ばれた都立墨田川高天文部の生徒たちに研究の内容や成果を聞いた。

学生科学賞都大会 8点 中央審査へ

に取りかかった。細かく標高を測定し、4人で等高線づくりを分担したものの、なかなかつながらない。苦心して完成させた月面図を基に、石こう粘土で立体模型を作ったが、どう光を当ててもXは現れなかった。あきらめずに等高線のデータ収集からやり直した。さらに細かく計測し、球面にした際の誤差も修正。試行錯誤を重ね、50万分の1の大きさの模型が完成した。

月面に浮かぶ「X」正体探る

都立墨田川高校 天文部

月の表面では、わずかな時間だけ「X」の文字のように見える形が浮き上がるという。模型で再現し、この現象が起きる理由を部員14人で探った。初めは天体望遠鏡でXを観測することが目的だった。ところが、コロナ禍で部活動も制限され、学校での天体観測が月1回に。気象条件も合わず、出会うことはかなわなかった。そこで5月、佐藤詩音さん(2年)が「見られないなら作る」と月面の再現を提案した。

藤井涼太さん(1年)が中心となって月面図の作製

目的しっかり持ち研究して 講評

今年度の最優秀賞は、中学が物理2、化学1、生物2の計5点、高校が化学2、地学1の計3点でした。

中学生物「モウソウチクの成長のしくみ」は、校内の竹林に注目し、天候条件も含め、その成長について節ごとに長さや組織を分析しています。「廃棄食品から生まれるバイオエタノール・パート

は、竹ひごとタコ糸で作った橋におもりを吊り下げての研究です。実験や統計的手法の考察が評価されました。「319個から探究する」は、段ボールなどの強度を保つハニカム構造の研究です。文献調査で特性を調べ、身近な材料を活用して実験、検証を行っています。中学化学「銅の色を自由自在に変える」は、亜鉛メッキや酸化被膜により、銅表面の色を変える研

究です。先行研究を改善し、簡単な実験方法の開発や多面的に条件を分析、考察した点が評価されました。

にセルロースが溶解する現象に気づき、研究を始めました。研究方法も科学的で、大学との連携により詳細な分析、考察を行っています。「スズ樹の大型化への挑戦」は、直径120センチのスズ樹作成の研究です。過去の研究を踏まえ、最適な方法により巨大スズ樹の作成に成功しています。高校地学「プロジェクト月面X」は、月の影の部分の観測で見られるX形の模様を、天文台のデータより作成した月面模型に光をあて再現しています。今年目的と内容が一致していない論文が目立ちました。目的を何度か見直し、研究の方向や方法を決めましょう。(審査委員長 佐藤友久・東京農工大名誉教授)

- 都大会の表彰式は29日、千代田区大手町のよみうり大手町ホールで行われる。
- 最優秀賞受賞者(敬称略)
- 中学の部
 - 「吊り橋の構造と強度」都立武蔵高付属中3年大宮夏夏▽「319個から探究する」城北中1年田中康太▽「銅の色を自由自在に変える」都立小石川中等教育学校銅への着色研究班▽「モウソウチクの成長のしくみ」東京農業大第一高等学校生物部尾瀬班▽「廃棄食品から生まれるバイオエタノール」安田学園高生物部
 - △奨励賞 東京学芸大付属高3年羽深爽▽都立小石川中等教育学校1年石田剛▽都立立川高化学部
- 高校の部
 - △奨励賞 筑波大付属中1年丸山紗菜▽同1年吉本隆良▽同1年松永未久▽都立武蔵高付属中3年川端勇我▽同3年国本とこと▽同3年宮川心美▽同3年柏井真結▽同3年世田谷区立駒沢中3年及川遼▽同3年千葉ひかり
 - △優秀賞 都立立川高化学部▽奥津憲人(新潟県文化中・高プラニングデザインチーム)、天海創(都立新宿高主任教諭)、那賀俊明(都立葛飾野高主任教諭)、曾輪佑子(都立小平南高主任教諭)▽同校中教諭
 - △高校 橋本道雄(都立戸山高非常勤教諭)、佐藤功(都立友留米西高指導教諭)、久保田裕人(都立白鷺高指導教諭)、吉田工(都立青山高指導教諭)、加藤優太郎(立小石川中等教育学校主任教諭)、平山大(都立日比谷高主任教諭)、奥津憲人(新潟県文化中・高プラニングデザインチーム)、天海創(都立新宿高主任教諭)、那賀俊明(都立葛飾野高主任教諭)、曾輪佑子(都立小平南高主任教諭)▽同校中教諭
 - △中学 渡辺恭秀(八王子市立檜原中学校長)、小原洋平(都立小石川中等教育学校主任教諭)、吉田勝彦(豊島区立駒込中主任教諭)、渡辺純(江戸川区立篠崎中指導教諭)、遠藤博則(墨田区立整川中副校長)、内藤理恵(世田谷区立駒沢中指導教諭)、青木久美子(世田谷区立千歳中主任教諭)、秋谷真理子(都立白鷺高付属中教諭)
 - △審査委員(敬称略)
 - ◆委員長 佐藤友久(東京農工大名誉教授)
 - ◆副委員長 梶山正明(筑波大付属学校教育局教授・教育長補佐)
 - ◆中学 渡辺恭秀(八王子市立檜原中学校長)、小原洋平(都立小石川中等教育学校主任教諭)、吉田勝彦(豊島区立駒込中主任教諭)、渡辺純(江戸川区立篠崎中指導教諭)、遠藤博則(墨田区立整川中副校長)、内藤理恵(世田谷区立駒沢中指導教諭)、青木久美子(世田谷区立千歳中主任教諭)、秋谷真理子(都立白鷺高付属中教諭)